

BOSE[®]



LIFESTYLE[®] 535/525 series II
home entertainment systems

LIFESTYLE[®] 235/135 series II
home entertainment systems

LIFESTYLE[®] 520/510
home theater systems

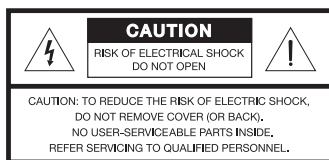
②操作ガイド

安全上の留意項目

このガイドは必ずお読みください。

ガイドの指示に注意して、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分に活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐにご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

Bose製品をご使用いただく際は、必ず地域と業界指導の安全基準に従ってください。



正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。



警告: のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。



注意:

- システムやアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、システムの安全性と性能が損なわれるだけでなく、法令遵守の問題が生じ、製品保証が無効となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。ヘッドホンを長時間使用する場合は、過度な音量を避けるようにしてください。

注記:

- 製品ラベルは本体の底または裏面にあります。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 電源アダプターは、必ず製品に付属しているものをご使用ください。
- 付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。




廃電池請回収

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。
焼却しないでください。

CE Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance.

安全上重要な指示

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 通気孔は塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の刃および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事業者などにご相談ください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
11. 必ずボーズ社により指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
12.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
14. 修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment. These devices comply with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for the general population. They must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

These devices comply with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation of the device.

安全上の留意項目

適用製品:

- LIFESTYLE® 535/525 series II home entertainment systems
- LIFESTYLE® 520/510 home theater systems



この製品は、米国特許番号 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535、および取得済みまたは出願中の他の米国特許および国際特許に基づき、ライセンスの下で製造されています。DTSとそのシンボル、およびDTSとシンボルを組み合わせたロゴはDTS, Inc.の登録商標であり、DTS Digital SurroundおよびDTSのロゴは同社の商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。©DTS, Inc. All Rights Reserved.

適用製品:

LIFESTYLE® 235/135 series II home entertainment systems



この製品は、米国特許番号: 5,956,674、5,974,380、6,487,535、および取得済みまたは出願中の他の国際特許に基づき、ライセンスの下で製造されています。DTS、DTSのシンボル、およびDTSとDTSシンボルを組み合わせたロゴはDTS, Inc.の登録商標であり、DTSのロゴは同社の商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。©2010 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements

Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.



この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。DolbyおよびダブルDマークはDolby Laboratoriesの商標です。

この製品は、Universal Electronics Inc.のライセンスに基づき、UEI Technology™を使用して設計されています。©UEI 2000-2011.

HDMIおよびHDMIのロゴはHDMI Licensing, LLCの米国および他の国々における商標または登録商標です。

iPhoneおよびiPadはApple Inc.の商標で、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。

XboxはMicrosoft Corporationの商標です。

TiVoはTiVo, Inc. またはその関連会社の商標です。

その他の商標は所有権を保持する各社に帰属します。

©2013 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

はじめに

お買い上げありがとうございます	7
システムの特長	7
困ったときは	7

リモコン/コンソールの機能および表示部

リモコン	8
リモコンを使用する	8
ナビゲーションコントロール部	9
再生コントロール部	9
ディスプレイ (535/525/235/135 series II systemのみ)	10
バックライトボタン	10
[MORE] ボタン	11
[MORE] ボタンの機能を有効にする	11
機能ボタンについての説明	11
コンソール	13
スピーカーアレイ (135 series II systemのみ)	14
Acoustimass®モジュール (135 series II systemのみ)	14

システムの起動と終了について

システムを起動する	15
テレビの電源を入れる	15
システムを終了する	15

接続した機器の操作について

接続機器を選択する	16
テレビを見る	17
テレビチューナー内蔵の外部機器を使用する	17
テレビ本体に内蔵されたチューナーを使用する	17
テレビのチャンネルを切り替える	17
AV機器を操作する	18
ラジオを選択する (535/525/235/135 series II systemのみ)	19
放送局を選局する	19
プリセット局を保存する	19
プリセット局を呼び出す	19
プリセット局を削除する	19
ラジオチューナーのその他の設定	19
iPod や iPhone の音楽や動画を再生する (535/525/235/135 series II systemのみ)	20

コンソールの前面入力を使用する	21
前面USB入力	21
前面アナログ音声/映像(A/V)入力.....	22
前面HDMI入力.....	22
画面モードを変更する.....	22
システムオプションを変更する	
[OPTIONS]メニューの使用.....	23
[OPTIONS]メニュー	23
システム設定の変更	
UNIFY®システムの概要.....	26
UNIFYメニューについて	26
お手入れ方法	
故障かな?と思ったら.....	27
システムをリセットする	29
リモコンとコンソールをペアリングする.....	29
システムソフトウェアを更新する.....	30
お問い合わせ先.....	30
電池を交換する	30
お手入れについて	31
保証	31
仕様	31
Licensing information	32

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品の底面に記載されています。

LIFESTYLE®のモデル: _____

コンソールのシリアル番号: _____

Acoustimass®のシリアル番号: _____

スピーカーアレイのシリアル番号(135 series II systemのみ): _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

お買い上げありがとうございます

Bose® LIFESTYLE® systemをご購入いただき、ありがとうございます。この製品は、映像や音楽を最高のパフォーマンスで簡単にお楽しみいただけるシステムです。

ナビゲーションシステムUnify®が、画面上の指示を通して周辺機器の接続・設定方法をご案内いたします。また、ご使用になるお部屋のリスニング環境を最適なものに調整する自動音場補正システムADAPTIQ®が搭載されています。

この「②操作ガイド」ではリモコンの機能と、システムおよび外部機器の操作方法についてご説明いたします。システムのご購入時は、まず別冊の「①設置ガイド」からお読みください。

システムの特長

すべてのシステムに共通する特長

- 機器の接続が簡単に行えるナビゲーションシステムUNIFY
- 3D映像機能(3D対応テレビと、3D対応Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機、ケーブルテレビ端末などの機器をLIFESTYLE® systemに接続する必要があります)
- お部屋を最適なリスニング環境に調整する自動音場補正システム「ADAPTIQ®」
- RF(電波式)リモコン
- HDMI®接続
- ビデオアップスケーリング機能(最大1,080p)
- USBドライブに保存された写真の表示

535、525、235、135 series II systemのみに搭載された追加機能

- AM/FMラジオ
- 背面パネルにiPodおよびiPhoneに対応する30ピンドック(別売)用端子を搭載

困ったときは

操作でトラブルが発生した場合は、「故障かな?と思ったら」(27ページ)をご確認ください。一般的な操作に関するトラブルを解決するには、このページの情報が役立ちます。製品のトラブル解決や修理についての詳細は、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

重要: 製品のユーザー登録をお願いいたします。

製品をご登録いただきますと、システムを常に最適なパフォーマンスに保つためのソフトウェアアップデートに関する情報をお知らせいたします。また、ボーズ社の新製品およびキャンペーンに関する情報もお伝えいたします。

登録の手順につきましては、製品登録カードをご参照ください。製品を登録されない場合でも、保証の内容やシステムソフトウェアのアップデートに関する権利に変更はありません。

リモコン/コンソールの機能および表示部

リモコン

リモコンを使用する

この電波式リモコンは、室内のどこからでもコンソールを操作することができます。リモコンをコンソールに向けて操作する必要はありません。

[SOURCE] ボタン - 外部機器のリストをテレビに表示し、その中から機器を選択します

電源ボタン - システムの電源をオン/オフします

カラーボタン - Blu-ray Disc™ プレーヤー、ケーブルテレビのセットトップボックスなどの赤、緑、黄、青の各ボタン機能を実行します

インターネットボタン - Blu-ray Disc™ プレーヤーやセットトップボックスなどのインターネットアクセスを有効にします

音量上/下ボタン - システムの音量を上げたり(+), 下げたり(-)します

ミュートボタン - スピーカーを一時的に消音します

画面モードボタン - 画面モードを変更します

数字キー - チャンネル番号や設定を入力します

AAC1+1 音声 が供給された場合、数字キーの [-] ボタンを押すたびに主音声、副音声、主+副音声が切り替わります

ディスプレイ - (10ページ参照)

TV 電源ボタン - テレビの電源をオン/オフします

テレテキストボタン - テレテキストの表示をオン/オフします

ナビゲーションコントロール部 - (9ページ参照)

[MORE] ボタン - 接続機器専用の操作メニューと情報をテレビに表示します
11ページを参照してください。

チャンネル送りボタン - チャンネルまたはプリセットを前後に送ります

d ボタン - ボタンを押すと、デジタルテレビなどのデータ放送画面を表示します

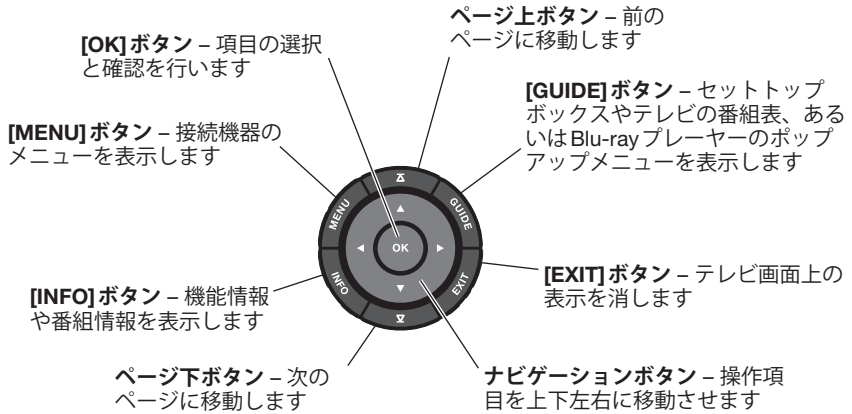
再生コントロール部 - (9ページ参照)

[TV INPUT] ボタン - テレビ入力を切り替えます



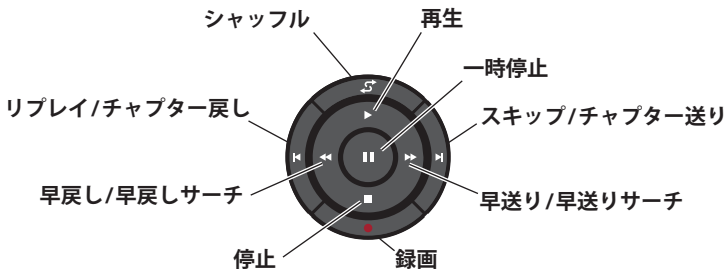
リモコン/コンソールの機能および表示部

ナビゲーションコントロール部



注意: ナビゲーションコントロール部、再生コントロール部の使い方の詳細については、「接続した機器の操作について」(16ページ)をご参照ください。

再生コントロール部



リモコン/コンソールの機能および表示部

ディスプレイ (535/525/235/135 series II systemのみ)

操作およびシステムの状態に関する情報が表示されます。

表示例:

接続機器に関する情報

CATVチューナー

音量

CATVチューナー
43

ラジオチューナー

FM P1
76.0


iPod

iPod
アルバム

操作メッセージ



数字キーを長押しして
プリセットを設定

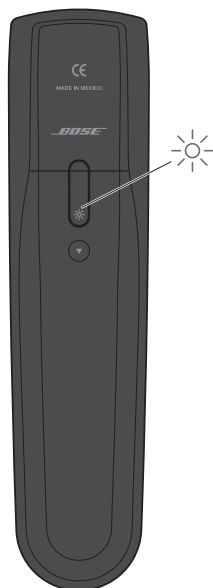
バックライトボタン

リモコンの裏側にあるバックライトボタン  を押すと、リモコンのボタンが数秒間点灯します(535/525/235/135 series II system用リモコンでは、ディスプレイも明るく表示されます)。ボタンを放してしばらくすると、バックライトは省電力のため自動的に消灯します。

ディスプレイの明るさを調整するには:

注意: AMまたはFMラジオを選択している場合は、調整を行う前に他の入力ソースに切り替えてください。そのまま操作を行うと、ラジオのプリセット局を誤って消去してしまう可能性があります。

1. バックライトボタン  を押しながら、同時に[OK]ボタンを5秒間押し続け、設定モードに入ります。
2. 上 ▲ または下 ▼ のナビゲーションボタンを押して、[Brightness] (明るさ) または [Contrast] (コントラスト) を選択します。
3. 左 ◀ または右 ▶ のナビゲーションボタンを押して、明るさまたはコントラストを調整します。
4. [OK] ボタンまたはバックライトボタン  を押すと、通常の操作に戻ります。



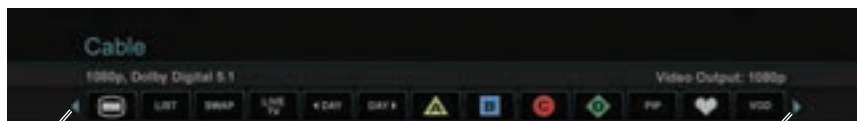
リモコン/コンソールの機能および表示部

[MORE]ボタン



[MORE]ボタンを押すと、テレビ画面の上部に、現在接続されている外部機器に関する機能ボタンが表示されます。表示される機能は、選択した機器によって異なります。表示できるボタンは13個です。ボタンの左右どちらかに矢印がある場合は、表示されていないボタンがあります。

ボタンが13個以上ある場合、ボタンの左右どちらかに矢印が表示されます。表示されていないボタンを表示するには、この矢印を押してスクロールします。



表示されていないボタンが左にあります。ハイライトを左に移動します。

表示されていないボタンが右にあります。ハイライトを右に移動します。

[MORE]ボタンの機能を有効にする

1. リモコンの[MORE]ボタンを押します。
2. ナビゲーションボタンの左 ◀ または右 ▶ を押して、選択する機能をハイライト表示します。
3. リモコンの[OK]ボタンを押します。

機能ボタンについての説明



[電源] 機器の電源をオン/オフします。



[ライブテレビ] テレビを放送中の番組に切り替えます。



[お気に入り] お気に入りチャンネルのリストを表示します。



[操作切替] DVD付きビデオデッキのDVD⇄ビデオ間の切替など、複合機の操作対象メディアの切替を行います。



[次の日] 番組表のページを次の日に移動します。



[ホーム] 機器の「ホーム」画面に移動します。



[前の日] 番組表のページを前の日に移動します。



[リピート] 選択している機器のリピート機能を選択します。



[録画リスト] 録画した番組のプレイリストを表示します。



マルチチューナー内蔵機器のチューナーを切り替えます。



[PIP] 二画面モードのオン/オフを切り替えます。



[TV/ラジオ切替] テレビとラジオを選択できるセットトップボックスにおいて、切替を行います。



[VOD] ビデオオンデマンドを選択します。



マルチチューナー内蔵機器のチューナーを切り替えます。

リモコン/コンソールの機能および表示部

機能ボタンについての説明(続き)



[チャンネル番号] 3桁のチャンネル番号を入力します(日本のみ)。



[OPTIONS] オプションメニューを表示します。
「システムオプションを変更する」(23ページ)をご参照ください。



セットトップボックスのシステムメニューを表示します。



Blu-ray Disc™プレーヤーのトップメニュー(またはタイトルメニュー)を表示します。



番組表の双方向操作機能A、B、C、Dを実行します。



Xbox®の機能を実行します。



[データ] デジタルテレビなどのデータ放送画面を表示します。



PlayStation®の機能を実行します。



デジタルテレビなどのデータ放送画面を表示します(日本国内では使用しません)。



TiVo®プログラムなどのコンテンツに評価を付けます。

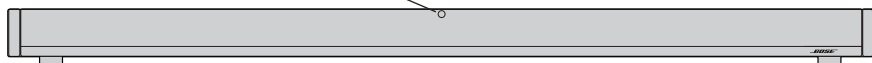


Blu-ray Disc™プレーヤーやケーブルテレビのセットトップボックスなどの「設定」機能を実行します。

リモコン/コンソールの機能および表示部

スピーカーアレイ (135 series II systemのみ)

ステータスインジケータ

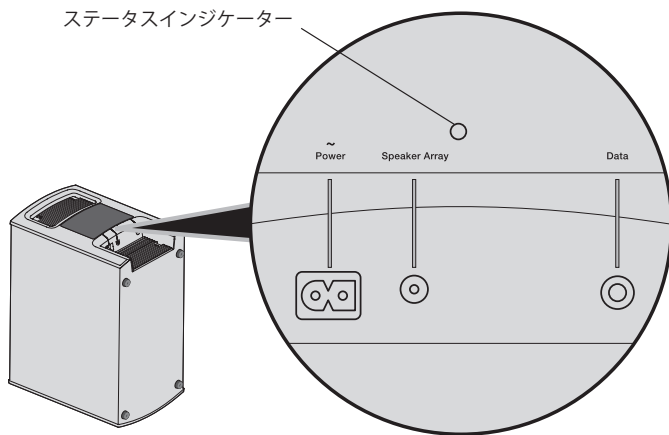


ステータスインジケータ：

- 切 スピーカーアレイとAcoustimass®モジュールが接続されています
- オレンジの遅い点滅 スピーカーアレイがワイヤレス接続を行える状態にあります
- オレンジの速い点滅 スピーカーアレイが切断されていて、接続を試みています
- 赤の点灯 システムエラーです(ユーザーサポートセンターへお問い合わせください)。

Acoustimass®モジュール (135 series II systemのみ)

ステータスインジケータ



ステータスインジケータ：

- オレンジの点灯 スピーカーアレイとAcoustimass®モジュールが接続されています
- 3秒間隔の点滅 Acoustimassモジュールがスピーカーアレイから切断されているか、アレイがオフ(Acoustimass®モジュールがスタンバイ)になっています
- オレンジの遅い点滅 Acoustimassモジュールがワイヤレス接続を行える状態にあります
- 赤の点灯 システムエラーです(ユーザーサポートセンターへお問い合わせください)。

システムの起動と終了について

システムを起動する

システムを起動するには:



リモコンまたはコンソールの**電源**ボタンを押します。

数秒後にコンソールのシステムステータスインジケータの点滅が緑の点灯に変わり、システムが使用可能な状態になります。

システムを起動して直接SOURCEリストを表示するには:

SOURCE

リモコンの**[SOURCE]**ボタンを押します。システムが起動し、テレビ画面に**[SOURCE]**リストが表示されます。

システムを起動して直接UNIFY®メニューを表示するには:

Setup

コンソールの**[Setup]**ボタンを押します。システムが起動し、テレビ画面にUNIFY®メニューが表示されます。

注意: 電源オフの状態では、システムは節電モードで電力消費量が低く抑えられています。そのため、システムの起動には数秒かかる場合があります。

テレビの電源を入れる

TV

既にUNIFYメニューに沿ってリモコンの設定が完了している場合、リモコンの**[TV電源]**ボタンを押すと、テレビの電源がオンになります。設定が完了していない場合は、テレビのリモコンを使用してください。

システムを終了する



リモコンまたはコンソールの**電源**ボタンを押すと、

システムは数秒後に自動的に終了します。

注意: [OPTIONS]メニューの設定により、接続された外部機器の電源操作をリモコンで行うことも可能です。この場合、システムは自動終了せず、画面に表示される「電源メニュー」で接続機器やコンソールの電源操作を行います。

接続した機器の操作について

接続機器を選択する

接続機器の選択は、[SOURCE]リストから行います。リストには、機器が10台まで表示されます。システムに10以上の機器が接続されている場合、リストの上下どちらかに矢印が表示されます。表示されていない機器を表示するには、この矢印を押してリストをスクロールします。

1. リモコンの[SOURCE]ボタンを押し、コンソールに接続されている接続機器のリストをテレビ画面上に表示させます。



表示されていない機器が上にあります。ハイライトを上に移動します。

表示されていない機器が下にあります。ハイライトを下に移動します。

2. [SOURCE]ボタンを押し続けると、ハイライト部分がリストの下に移動します。選択する機器に合わせてください。

- ナビゲーションコントロール部の上 ▲ または下 ▼ ボタンを押して、機器の選択を移動することもできます。
- 既にセットアップ手順に沿って機器に名前を付けている場合は、割り当てた名前がリストに表示されます。名前が付いていない機器は、[入力1 (HDMI)]、[入力2 (HDMI)]のように表示されます。
- 電源が入っていない機器を選択すると、機器の電源を確認するように指示するメッセージが画面に表示されます。

注意: オーディオ機器を選択すると、画面の焼き付き防止のため、自動的にスクリーンセーバーモードに移行します。LIFESTYLEリモコンのボタンをどれか押すと、画面表示が元に戻ります。スクリーンセーバーを無効にする方法については、「システムオプションを変更する」(23ページ)をご参照ください。

注意: UNIFY®テクノロジーは、LIFESTYLE®リモコンで各接続機器を操作できるように、システムを設定する事ができます。LIFESTYLE®リモコンで操作できない機器がある場合は、「故障かな?と思ったら」(27ページ)をご参照ください。

テレビを見る

テレビ番組を見るには、①テレビチューナー内蔵の外部機器(CATV等のセットトップボックス、地デジチューナー内蔵HDDレコーダーなど)を使用する方法と、②テレビ本体に内蔵されたチューナーを使用する方法の2つがあります。

注意: テレビの操作を付属のLIFESTYLE®リモコンで行う場合は、リモコンをテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。テレビのリモコン受光部については、テレビの取扱説明書をご参照ください。


テレビチューナー内蔵の外部機器を使用する


セットトップボックスやHDDレコーダーなどを使用する場合、その機器はセットアップ時に割り当てた名前が[SOURCE]リストに表示されます。

1. リモコンの[SOURCE]ボタンを押して、テレビ番組を受信する機器を選択します。
2. テレビのチャンネルを合わせます。下の「テレビのチャンネルを切り替える」を参照してください。

テレビ本体に内蔵されたチューナーを使用する

テレビ内蔵のチューナーを使用して番組を見るには、次の操作を行います。

1. リモコンの[SOURCE]ボタンを押して、[テレビ]を選択します。
2. [TV Input] ボタン  を何回か押して、テレビの内蔵チューナーを選択します。
3. テレビのチャンネルを合わせます。下の「テレビのチャンネルを切り替える」を参照してください。

テレビ本体の映像から外部機器の映像に切り替えるには、まず[TV INPUT] ボタン  を押してテレビ入力をポーズシステムに切り替え、続いて[SOURCE]ボタンを押して対象の外部機器を選択します。

テレビのチャンネルを切り替える

テレビのチャンネルは、次のいずれかの方法で切り替えられます。



数字キーでチャンネル番号を直接入力します。



チャンネル上/下ボタンの上 ▲ または下 ▼ ボタンを使用して、チャンネルを変更します。

前に選択していたチャンネルに戻るには、↻ ボタンを押します。



[GUIDE] ボタンを押します。ナビゲーションボタンとページ送りボタンを使用し、[OK] ボタンを押して番組表からチャンネルを選択します。

接続した機器の操作について

AV機器を操作する

既にUNIFY®システムに従ってCD、DVD、DVR、またはBlu-ray Disc™プレーヤーなどのAV機器を接続してある場合、これらの機器は通常入力1～5に接続されています。

LIFESTYLE®リモコンで機器を操作できるように設定している場合、次のボタンで選択した機器を操作できます。

	MENU	機器のメニュー (該当する場合) またはシステムセッアップメニューの表示
	GUIDE	Blu-ray Disc プレーヤーのメニューの表示、番組表の表示など
	INFO	機器に関する情報の表示
	EXIT	メニューの終了
		上の項目へ移動
		下の項目へ移動
		左へ移動
		右へ移動
		項目の選択
		次のページ、チャンネル、ディスクへ移動
		前のページ、チャンネル、ディスクへ移動
		再生
		一時停止
		停止
		録画
		早送り/早送りサーチ
		巻き戻し/巻き戻しサーチ
		スキップ/チャプター送り
		リプレイ/チャプター戻し
	シャッフルモード	

ラジオを選択する

(535/525/235/135 series II systemのみ)

1. [SOURCE] ボタンを押します。
2. [SOURCE] ボタンを続けて押して、[SOURCE] リストから [FM] または [AM] を選択します。

放送局を選局する



- ▶ (高) ボタンまたは ◀ (低) ボタンを押して、周波数を上下に移動します。
- または
- ▶▶ (次を探す) ボタンまたは ◀◀ (前を探す) ボタンを押して、前後の周波数で電波の強い局を探します。

プリセット局を保存する

内蔵ラジオチューナーには、FM 25局とAM 25局をプリセット局として保存できます。

1. 放送局を選局します。
2. プリセット1～9に登録する場合は、登録したい番号の数字キーを長押しします。プリセット10～25については、[OK] ボタンを長押しすることにより、空いているプリセット番号に順に登録されます。



プリセット局を呼び出す



▲ (チャンネル上) ボタンまたは ▼ (チャンネル下) ボタンを押して、プリセットを前後に移動します。




プリセット1～9をすばやく呼び出すには、プリセット番号を数字キーで押します。

プリセット局を削除する

1. 削除するプリセット局を呼び出します。
2. プリセット番号がリモコンのディスプレイから消えるまで、[OK] ボタンを長押しします。

ラジオチューナーのその他の設定

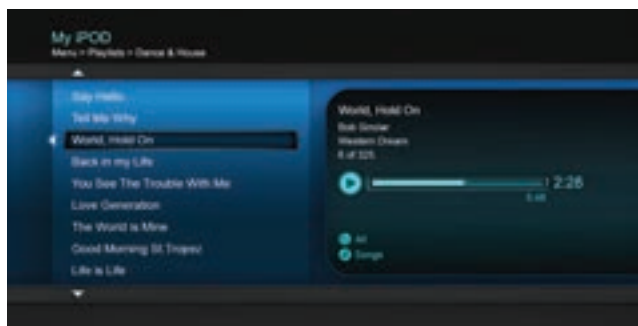
1. [MORE] ボタン  を押して [OPTIONS] を選択します。
2. [OPTIONS] メニュー (詳細は23ページを参照) では、以下の操作を行えます。
 - 現在の放送局: ステレオのオン/オフを選択
 - RDS: 本機能は日本では使用しません。

接続した機器の操作について


















iPod や iPhone の音楽や動画を再生する (535/525/235/135 series II systemのみ)

LIFESTYLE® system では、30 ピンのドック (ボーズから購入できます) に接続した iPod や iPhone の音楽や動画を再生できます。

次の例のように、iPod または iPhone メニューとプレイリストが画面の左側に表示され、再生中のトラックが右側に表示されます。



次のボタンで接続した iPod/iPhone を操作できます。

	MENU	上位メニューへ移動 (長押しするとトップメニューへ移動)。ビデオ再生中は一時停止してメニューを表示
		上のページへ移動
		下のページへ移動
		上のメニュー項目へ移動 (長押しでスクロール)
		下のメニュー項目へ移動 (長押しでスクロール)
		上位メニューへ移動。ビデオ再生中は、一時停止してメニューを表示
		下位メニューへ移動
		下位メニューへ移動
		再生
		一時停止
		停止
		次のトラックまたはオーディオブックマークへ移動
		前のトラックまたはオーディオブックマークへ移動
		早送り
		早戻し
	シャッフルモード	

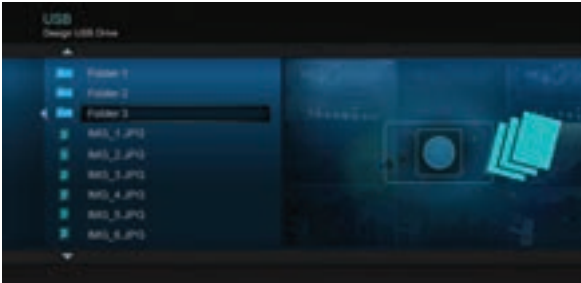
コンソールの前面入力を使用する

コンソールの前面には、アナログ音声/映像入力、USB、HDMI®入力があり、機器を接続している場合にのみ、[SOURCE]リストに[A/V (前面)]、[USB]、[HDMI (前面)]と表示されます。これらの入力は、デジタルカメラやビデオカメラなどを必要に応じて接続いただけます。

前面USB入力

LIFESTYLE® systemでは、USBドライブに保存された写真ファイル(.jpgまたは.jpeg形式のみ)をスライドショー(自動送り)で表示できます。

[USB]を選択すると、画面左側に上からフォルダーが表示され、フォルダーの下に画像ファイルの一覧が表示されます。フォルダーを選択すると、保存されている写真が表示されます。



写真を表示する場合は、次の操作ボタンを使用できます。

	▲	上のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	▼	下のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	◀	上位フォルダーへ移動、またはスライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	MENU	上位フォルダーへ移動、またはスライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶	下位フォルダーへ移動
	OK	フォルダーを選択している場合は下位フォルダーへ移動、写真ファイルを選択している場合はスライドショーを表示
	△	9つ前のファイルへ移動
▽	9つ後のファイルへ移動	
EXIT	スライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る	
	▶	選択したフォルダーのスライドショーを表示
		スライドショーを一時停止
	■	スライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶	次の画像を表示
	◀	前の画像を表示

接続した機器の操作について

前面アナログ音声/映像(A/V)入力

この入力には、コンポジット映像出力とアナログ音声出力(左右)を備えた機器を接続できます。この入力に接続した機器をLIFESTYLE®リモコンで操作することはできません。機器の操作ボタンを使用するか、機器に付属のリモコンを使用してください。

前面HDMI入力

この入力には、HDMI出力を備えた機器を接続できます。この入力に接続した機器をLIFESTYLEリモコンで操作することはできません。機器の操作ボタンを使用するか、機器に付属のリモコンを使用してください。

画面モードを変更する



画面モードボタンを押すと、画面モードを選択するメニューが表示されます。このボタンを続けて押して、選択する画面モードをハイライト表示します。

モードを選択すると、画面はすぐに切り替わります。

注意: 3D映像をご覧の場合、画面モードボタンを押しても画面モードの選択メニューは表示されません。これは、3D映像の画角は変更することができないためです。



標準 オリジナルの映像をそのまま表示します。



オートワイド 画面を切り取らずに幅いっぱいに表示します。



ストレッチ1 映像を中央から均等に引き伸ばします。



ストレッチ2 映像を中央からの距離に比例して引き伸ばします。端に近いほど拡大率が高くなります。



ズーム 映像を拡大します(上下のナビゲーションボタンを押すと、画面が上下に移動します)。




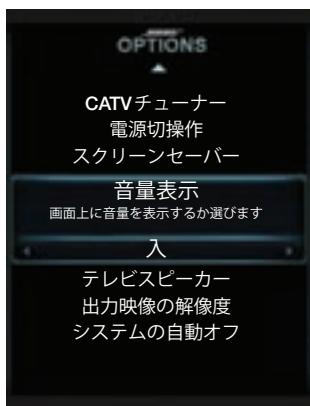
グレイバー 標準サイズ(4:3)の映像の左右に灰色の縦帯を付加して表示します。

システムオプションを変更する

[OPTIONS]メニューの使用

[OPTIONS]メニューに表示される項目数は、選択されている機器によって異なります。

1. リモコンの[MORE]ボタン  を押します。
2. ナビゲーションボタンの左 ◀ または右 ▶ を押して、[OPTIONS]をハイライト表示します。リモコンの[OK]ボタンを押すと、次の図(例)のように現在の機器の[OPTIONS]メニューが表示されます。



3. ナビゲーションボタンの上 ▲ または下 ▼ を押して、変更するオプションをハイライト表示します。
4. ナビゲーションボタンの左 ◀ または右 ▶ を押して、設定を選択します。
5. 選択の完了後、リモコンの[EXIT]を押して終了します。

[OPTIONS]メニュー

太字の項目は出荷時設定です。

オプション	選択可能な設定
音声 (235 series II または 135 series II systemでは選択不可)	オリジナル.....機器からステレオ音声を受信している場合は、ステレオ音声を再生します モード1(推奨)接続機器から入力される音声・映像に最適なアルゴリズムを用いて、5ch音声を再生します モード2.....モード1と異なる仕様のアルゴリズムを用いて、5ch音声を再生します エンハンストモノ.....機器からモノラル音声を受信している場合に、ボーズ独自の音声処理技術で再現したサラウンド音声を再生します

システムオプションを変更する

オプション	選択可能な設定
現在の放送局 (520または510 systemでは選択 不可)	ステレオ 入 現在のFMラジオ局の音声をステレオで再生し ます ステレオ 切 現在のFMラジオ局の音声をモノラルに切り替え ます(電波の弱い放送局が聴きやすくなります)
RDS (520または510 systemでは選択 不可)	入 本機能は日本では使用しません 切 本機能は日本では使用しません
ゲームモード	入 ビデオの処理速度を向上し、遅延を抑えます 切 標準のパフォーマンスに設定します
音声モード	切 音声モードの調整を行いません 台詞の強調 映画の台詞をより聞こえやすくします スマートボリューム ... 映画の中で音が非常に大きなシーンと静かな シーンの音量差が少なくなるように、自動的に 調整します(深夜など、音量設定を小さくした状 態で映画鑑賞をしたい場合に便利です)
二重音声	主音声 1+1(デュアルモノ)音声チャンネルのうち、主音 声を選びます 副音声 1+1(デュアルモノ)音声チャンネルのうち、副音 声を選びます 主+副 主音声/副音声と同時に聞こえます 二重音声なし 二重音声を受信していない場合に自動で選択さ れます
音量レベル	選択したソースの音量を他のソースよりも高く設定します(0～10)
ソースオーバ ースキャン (2Dのみ)	入 現在のソース映像に対して、オーバースキャン 補正(映像を全体的に拡大し、映像周辺部を画面 に表さない)を適用します 切 オーバースキャン補正を適用しません 注意: 3D機器を再生している場合、オーバースキャンの項目には「Not Available」(使用できません)と表示されます。
低音部補正	低音部の補正を行います: -9～標準～+6(ADAPTIQ®による補正後) -14～標準～+14(ADAPTIQによる補正なし)
高音部補正	高音部の補正を行います: -9～標準～+6(ADAPTIQ®による補正後) -14～標準～+14(ADAPTIQによる補正なし)
2D AVシンク (2Dのみ)	音声の聞こえるタイミングを調整し、2D映像の動きと音声を合わせます: -2～標準～+5
3D (3Dのみ)	使用している3Dメガネに合わせて3Dフォーマットを設定します 自動 適切な3Dフォーマットを自動で設定します サイドバイサイド サイドバイサイドフォーマットを選択します トップアンドボトム ... トップアンドボトムフォーマットを選択します

システムオプションを変更する

オプション	選択可能な設定
3D A/Vシンク (3Dのみ)	音声の間こえるタイミングを調整し、3D映像の動きと音声を合わせます -2 ~標準~ +10
電源切操作	標準電源ボタンを押すと、[Boseシステムの電源を切っています]の画面を表示します 接続機器電源メニュー直接周辺機器の電源を切るための一覧表を表示します
スクリーンセーバー	入音声のみのソースを再生しているときに、操作をせずに20分経過すると、スクリーンセーバーを表示します 切スクリーンセーバーを無効にします
リアスピーカー (235 series IIまたは135 series II systemでは選択不可)	リアスピーカーの音量バランスを、フロントスピーカーとの対比で調整します(-10 ~標準~ +6) 注意: [スピーカーモード]オプションが[ステレオ(2)]または[フロント(3)]に設定されている場合、この設定はできません
センタースピーカー (235 series IIまたは135 series II systemでは選択不可)	フロントセンタースピーカーの音量バランスを、他のスピーカーとの対比で調整します(-8 ~標準~ +8) 注意: [スピーカーモード]オプションが[ステレオ(2)]に設定されている場合、この設定はできません
スピーカーモード (235 series IIまたは135 series II systemでは選択不可)	ステレオ(2) フロントスピーカーのL、Rのみを有効にします フロント(3) フロントスピーカーのL、R、センターのみを有効にします サラウンド(5) ... フロントスピーカーとリアスピーカーを全て有効にします
音量表示	入音量メーター表示と消音表示をテレビ画面に表示します 切音量メーター表示と消音表示を画面に表示しません
テレビスピーカー	入HDMI™音声出力をテレビへ送ります(コンソールにヘッドホンを接続したり、本機のリモコンの消音ボタンや音量ボタンを操作しても、テレビスピーカーからの音量は変わりません) 切HDMI音声出力をLIFESTYLE® systemのスピーカーへ送ります
出力映像の解像度 (2Dのみ)	テレビに送る映像信号の解像度(標準映像/720p/1080i/1080p)を選択します(接続されたテレビで対応している設定のみがオプションとして表示されます) 注意: 3D機器を再生している場合、映像の解像度は常に接続されている3D機器が出力した解像度と同じになります。出力映像の解像度には、自動的に設定された解像度が表示されます。3D機器を再生している間は解像度を変更できません。
システムの自動オフ	有効 リモコンボタンの操作が4時間以上行われな場合、システムの電源を自動的にオフにします 無効 システムの電源を自動的にオフにしません 注意: ビデオ機器から音声または映像が15分間再生されない場合、またはオーディオ機器から音声か15分間再生されない場合、システムの電源は自動的にオフになります。これらの場合は、自動オフ機能を無効にしてもシステムの電源がオフになります。

システム設定の変更

UNIFY®システムの概要

ナビゲーションシステムUNIFY®は、画面上の指示を通してシステムのセットアップと設定の手順をご案内します。ケーブルと入力端子を正しく選択し、接続した機器を使用できるようにLIFESTYLE®リモコンをプログラムするための便利な機能です。

初期設定の終了後は、いつでもUNIFY®システムを使用して設定の変更を行えます。

UNIFYメニューについて

UNIFYメニューをテレビ画面に表示するには、コンソール前面の[Setup]ボタンを押します。リモコンのナビゲーションボタンを使用して機能を選択し、画面に表示される指示に従います。

メニュー項目	可能な操作
初期設定を再開	初期設定を完了していない場合に、UNIFY®システムで最後に行った操作に戻ります。
初期設定を最初からやり直し	初期設定を完了していない場合に、UNIFY®システムの操作を最初からやり直します。
Acoustimass® モジュールへ再 接続(135 series II systemのみ)	画面の指示に従って、スピーカーアレイをAcoustimass®モジュールに再接続します。
言語	画面表示の言語を選択します。
ADAPTIQ®	ADAPTIQによる音場補正を開始します。ADAPTIQによる補正を行った後でこのメニュー項目を選択すると、ADAPTIQによる補正の有効/無効を切り替えます。
テレビの設定	コンソールにテレビが接続されている場合に、以下の操作を行えます。 <ul style="list-style-type: none">• LIFESTYLE®リモコンでテレビを操作できるように設定します。• リモコンの赤外線(IR)コードを手動で入力します。• テレビの入れ替えをサポートします。• テレビの音声接続の追加、変更、または取り外しをサポートします。
接続機器の設定	コンソールの入力1～5に機器が接続されている場合に、以下の操作を行えます。 <ul style="list-style-type: none">• 機器の表示名を変更します。• 本機のリモコンで機器を操作できるように設定し、IR(赤外線)エミッターを追加します。• リモコンの赤外線(IR)コードを手動で入力します。• 機器の設定を削除します。• 接続されている音声/映像ソースの種類を追加/変更します。
新たな機器の追加	初期設定の完了後に、別の機器またはアクセサリをシステムに追加することができます。
アップデート	システムソフトウェアを更新します(詳しくは、「システムソフトウェアを更新する」(30ページ)をご参照ください)。
学習モード	学習型リモコンを設定するために、赤外線(IR)コードを送信します。
UNIFY®の終了	UNIFY®メニューを終了して、最後に選択していた機器の画面に戻ります。

故障かな？と思ったら



トラブル	対処方法
LIFESTYLE®リモコンを初めて使用したとき、システムが応答しない	<ul style="list-style-type: none"> • コンソールの電源が入っていることを確認してください。 • リモコンに電池が入っていることを確認して、必要に応じて新しい電池に交換してください。「電池を交換する」(30ページ)をご参照ください。 • システムをリセットしてください。「システムをリセットする」(29ページ)を参照してください。 • リモコンのいずれかのボタンを押して、コンソールのステータスインジケータを確認します。ボタンを押すたびにインジケータが点滅します。点滅しない場合は、「リモコンとコンソールをペアリングする」(29ページ)を参照して、手順に従ってください。
初期設定で接続した機器をLIFESTYLEリモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> • 機器を再セットアップしてください。コンソールの[Setup]ボタンを押し、接続した機器の設定(リモコンの設定)を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。 • システムソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。「システムソフトウェアを更新する」(30ページ)をご参照ください。
最適なインターフェイスで映像機器を接続したい	<p>映像の接続を変更するには、コンソールの[Setup]ボタンを押して、その機器の設定オプション(接続の変更)を選択し、画面に表示される手順に従ってください。</p>
システムがまったく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが電源アダプターに正しく接続されていることを確認してください。 • Acoustimass®モジュールと電源アダプターが、壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • (135 series II systemのみ)スピーカーアレイの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • [SOURCE]リストから接続機器を選択してください。 • システムをリセットしてください。「システムをリセットする」(29ページ)を参照してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • Acoustimass®モジュールの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • (135 series II systemのみ)スピーカーアレイの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • 音量を上げてください。 • ミュートボタンを押して、システムが消音状態でないことを確認してください。 • コンソールの入力接続をチェックし、機器を正しく選択していることを確認してください。 • コンソールの[Audio Out]端子(Bose Link端子ではない)に音声入力ケーブルがしっかりと接続され、ケーブルの反対側がAcoustimassモジュールの[Media Center]端子にしっかりと接続されていることを確認してください。 • (135 series II systemのみ)コンソールの[Audio Out]端子(Bose Link端子ではない)に音声入力ケーブルがしっかりと接続され、ケーブルの反対側がスピーカーアレイの[Console]端子にしっかりと接続されていることを確認してください。 • (135 series II systemのみ)コンピューター用ワイヤレスネットワークルーター、その他のワイヤレス装置、電子レンジなど、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある機器類を全てシステムから離れたところに移動してください。 • ラジオを聴く場合は、FM用とAM用のアンテナを接続してください。 • システムをリセットしてください。「システムをリセットする」(29ページ)をご参照ください。

お手入れ方法

トラブル	対処方法
音質が変化し、スピーカーアレイのステータスインジケータがオレンジで点滅している(135 series II systemのみ)	コンソールの[Setup]ボタンを押して、[Reconnect Acoustimass(ベースモジュールへ再接続)]メニュー項目を選択します。画面に表示される手順に従ってください。
テレビがリモコン操作に反応しない(135 series II systemのみ)	<ul style="list-style-type: none"> • テレビの赤外線(IR)受光部がスピーカーアレイに隠れていないことを確認してください。テレビとスピーカーアレイの位置を変えて、赤外線(IR)受光部が遮られないようにします。 • テレビの赤外線(IR)受光部の位置については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
低音が途切れる(135 series II systemのみ)	<ul style="list-style-type: none"> • Acoustimass®モジュールのステータスインジケータがオレンジに点灯していて、点滅していないことを確認してください。 • スピーカーアレイのステータスインジケータがオレンジに点滅する場合: <ul style="list-style-type: none"> – Acoustimass®モジュールの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されており、ステータスインジケータがオレンジに点灯していることを確認してください。 – コンソールの[Setup]ボタンを押して、[Reconnect Acoustimass(ベースモジュールへ再接続)]メニュー項目を選択します。画面に表示される手順に従ってください。 – コンピューター用ワイヤレスネットワークルーター、その他のワイヤレス装置、電子レンジなど、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある機器類を全てシステムから離れたところに移動してください。
静電気などが原因でブーンという大きな雑音やノイズが入る	他の電気製品などから電気的な干渉が発生していないか、ご確認ください。
ラジオが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナが正しく接続されていることを確認してください。 • AMアンテナをコンソールとAcoustimassモジュールから50 cm以上離してください。 • 受信状況が改善されるように、アンテナの位置を調整してください。 • AMアンテナが垂直に立っていることを確認してください。 • コンソール、テレビ、その他の電気製品からアンテナを離してください。 • 別の放送局の受信をお試しください。地域によっては、一部の放送局の受信状態が良くない場合があります。
FMラジオの音声が歪む	<ul style="list-style-type: none"> • 電波干渉が少なくなるように、アンテナの位置を調整してください。 • FMアンテナをいっぱいまで伸ばしてください。
3D画像の番組の画面が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブ方式の3Dメガネをお使いの場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。 • 3D映像機器の設定を変えてみます。 • 問題が解決しない場合は、テレビの赤外線(IR)受光部がスピーカーアレイに隠れていないことを確認してください。テレビとスピーカーアレイの位置を変えて、赤外線(IR)受光部が遮られないようにします。 • テレビの赤外線(IR)受光部の位置については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
音声が歪む	<ul style="list-style-type: none"> • 音声入力ケーブルに傷などがなく、両端がしっかりと接続されていることを確認してください。 • コンソールに接続されている外部機器の音量を下げてください。 • (135 series II systemのみ)スピーカーアレイの外装とグリル、およびAcoustimass®モジュールの前面から、保護フィルムを剥がしてください。



トラブル	対処方法
接続された機器からの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 接続を確認してください。 音声用に同軸ケーブルまたは光ケーブルを使用している場合は、コンソールの接続を調べ、同じ機器からの入力端子に誤って同軸ケーブルと光ケーブルの両方を接続していないか確認してください。 機器の電源が入っていることを確認してください。 機器に付属の取扱説明書を参照してください。
音声は聞こえるが、テレビ画面に映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> テレビの映像入力を選択を確認し、正しい映像機器が選択されていることを確認してください。 映像ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
接続された機器をリモコンで正しく操作できない	コンソールに付属のIR (赤外線) エミッターを接続してください。接続の方法については、コンソールの[Setup]ボタンを押して各ソース機器の設定オプション(リモコンの設定)を選択し、画面に表示される手順に従ってください。
同軸デジタル音声入力で音声が断続的に途切れる	同軸デジタル音声接続に使用しているケーブルをご確認ください。ケーブルの品質が音声に影響を与える場合があります。

システムをリセットする

1. コンソールの電源ボタン  を、システムステータスインジケータが赤に変わるまでおよそ5秒間長押しします。システムの電源がオフになると、コンソールのシステムステータスインジケータが赤の点灯になります。
2. コンソールの電源ボタン  から指を放すと、システムが再起動します。システムステータスインジケータが緑に点滅し、使用可能になると緑に点灯します。
3. リセット後もシステムがリモコンに反応しない場合は、次項目の手順に従ってリモコンのペアリングを行います。

リモコンとコンソールをペアリングする

リモコンを交換した場合や、トラブルシューティングの際に、この手順を実行する必要があります。

1. システムの電源が入っていることを確認します。電源が入っていない場合は、コンソールの電源ボタン  を押します。
2. リモコンを持ち、コンソールに近付けます。
3. コンソールのミュートボタン  を押しながら、同時にリモコンの[OK]ボタンを5秒間押し続けます。ペアリングが完了すると、システムステータスインジケータが点滅します。
4. リモコンのいずれかのボタンを押すたびに、コンソールのシステムステータスインジケータが点滅することを確認します。

お手入れ方法

システムソフトウェアを更新する

インターネットに接続されているコンピュータを使用して、ボーズ社のサイトで公開されているアップデートファイルを、システムに付属のUSBドライブにダウンロードします。

1. コンソール前面の[Setup]ボタンを押して、UNIFY®メニューを表示します。
2. リモコンのナビゲーションボタンを使用して、[アップデート]を選択します。
3. 画面に表示される手順に従います。

注意: LIFESTYLE®リモコンのソフトウェア更新を確実に行うために、アップデートの間リモコンをコンソールの前面そばに置いてください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9

唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

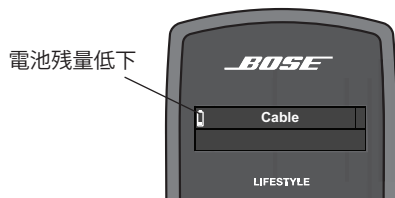
ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

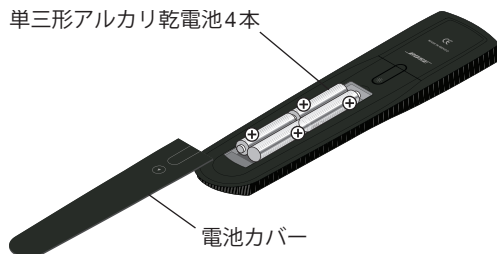
電池を交換する

リモコンの使用範囲が著しく狭くなったり、反応が悪くなった場合、またはディスプレイの電池残量表示が低下している場合は、電池を4本とも交換します。



1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして外します。

単三形アルカリ乾電池4本



2. 使用済みの電池を取り外します。
3. 電池ケースに表示されている+と-の向きと、乾電池の+と-の向きを正しく合わせて、単三形アルカリ乾電池4本を入れます。
4. バッテリーカバーを元通りにスライドして閉じます。

お手入れについて

外装は柔らかい布でから拭きしてください。スピーカークリルには弱いパワーで掃除機をかけてもかまいません。

注意:

- 溶剤、化学薬品、スプレーなどを使用しないでください。
- 開口部から液体や異物が入らないようにしてください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

仕様

リモコン(動作確認用電池を装着済み)

周波数: 2.4 GHz

使用範囲: 10 m

コンソール用電源アダプターの電源範囲

AC入力: 100V \sim 50/60 Hz、1.0A

DC出力: 12V \equiv 35W (最大)

Acoustimass®モジュールの電源範囲(LIFESTYLE® 535/525/520/510/235 series II system)

米国/カナダ: 100 \sim 120V \sim 50/60 Hz 350W

その他の国々: 220 \sim 240V \sim 50/60 Hz 350W

デュアル電圧: 100 \sim 120/220 \sim 240V \sim 50/60 Hz 350W

Acoustimass®モジュールの電源範囲(LIFESTYLE® 135 series II systemのみ)

AC入力: 100V \sim 50/60Hz 150W

スピーカアレイの電源範囲(LIFESTYLE® 135 series II systemのみ)

AC入力: 100V \sim 50/60Hz 60W

ワイヤレス接続の範囲(LIFESTYLE® 135 series II systemのみ)

出力: 5 mW (2400 \sim 2480 MHz)

使用範囲: 6.1 m

Licensing information

This product contains one or more free or open source software programs originating from third parties and distributed as part of the STLinux software package. Visit www.stlinux.com/download for further details. This free and open source software is subject to the terms of the GNU General Public License, GNU Library/Lesser General Public License, or other different and/or additional copyright licenses, notices, and disclaimers. To understand your rights under these licenses, please refer to the specific terms of the licenses, notices, and disclaimers, which are provided to you in an electronic file, named "licenses.pdf," located within the product's control console. To read this file, you will need a computer with a USB port and a software program that can view .pdf files.

To download "licenses.pdf" from your product's control console:

1. Press and hold the Setup button on the front of the control console to display the System Information screen.
2. Insert a USB drive (there should be one included in your system package) into the USB input on the front of the control console.
3. Press the OK button on the remote control to copy the file to the USB drive. This download process should be completed within 30 seconds. You may then remove the USB drive.
4. To read the file "licenses.pdf," plug the USB drive into a computer with a USB port, navigate to the USB root directory, and open "licenses.pdf" with a software program that can view .pdf files.

To receive a copy of the source code for the open source software programs included in this product, please mail your written request to: Licensing Manager, Mailstop 6A2, Bose Corporation, The Mountain, Framingham, MA 01701-9168. Bose Corporation will distribute such source code to you on a disc for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling. All of the above referenced licenses, notices, and disclaimers are reproduced and available with such source code. This offer is valid for a period of three (3) years following the date of distribution of this product by Bose Corporation.



374877-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2013 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM374877 Rev. 00